

重要取組シート

取組項目		いじめ不登校対策支援				
現状・課題	【現状】いじめの認知件数、不登校児童生徒数はそれぞれ増加傾向にある。					
	いじめ認知件数の推移			不登校児童生徒数の推移		
	年度	小学校	中学校	年度	小学校	中学校
	令和 2 年度	2,282 件	350 件	令和 2 年度	537 人	768 人
	令和 3 年度	3,747 件	569 件	令和 3 年度	632 人	878 人
	令和 4 年度	4,750 件	786 件	令和 4 年度	811 人	1,144 人
	令和 5 年度	5,678 件	854 件	令和 5 年度	954 人	1,197 人
	令和 6 年度	5,600 件	837 件	令和 6 年度	1,058 人	1,241 人
【課題】						
○いじめや不登校等の課題を早期発見し早期対応につなげる必要がある。						
○年々こども本人からの相談が増加しているが、いじめの認知件数や不登校児童生徒数から見ると少数である。こどもの気持ちに寄り添った対応を行うためには、こどもが安心して相談できる環境をつくり、こども本人から直接思いを聞く取組を充実させる必要がある。						
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
こども本人からの相談件数		15 件	29 件	75 件	94 件	
取組の内容		○いじめや不登校などの課題の早期発見につながるよう、広報さかいや市 SNS、子育てイベント等で相談窓口の周知を行う。 ○こどもが相談しやすくなるよう、返信用封筒としても使用できる手紙相談用紙を堺市立学校の児童生徒に配付する。 ○臨床心理士等の専門職によるこどもへの意見聴取、こども及び保護者へのカウンセリングを実施する。保護者を対象にいじめに関する正しい知識や SNS 等の危険性に関する講座を実施することでいじめの未然防止につなげる。				
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ (通年) 相談対応 ☐ (通年) 子育てイベント等での相談窓口の周知 ☐ (4 月) こどもの意見聴取事業委託契約開始 ☐ (6 月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 ☐ (8 月) SNS 等の危険性に関する講座 ☐ (8 月) 市 SNS 等による相談窓口の周知				
	後期 (～3 月)	☐ (9 月) 広報さかい等による相談窓口の周知 ☐ (9 月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 ☐ (11 月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 ☐ (1 月) いじめに関する正しい知識に関する講座				
	次年度以降	☐ 児童生徒本人から相談しやすくなるように、周知方法など継続して改善する				

(様式 4)

進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2030 堺市基本計画	該当する 施策	3- (3) 多様性を尊重した教育の推進		
	寄与する KPI	—	目標値 (2030 年度)	
			—	
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに	
	寄与する KPI	—		目標値 (2030 年度) —